

維持管理 Q & A 集

横向流夾雑物除去接触ろ床循環方式

ダイエー浄化槽

FCH 5・7・10 型

DAIE 大栄産業株式会社

Q. 使用開始前点検時のポイントについて教えてください

→試運転調整時のポイントは以下となります。

(1) ばっ気状況および揚水状況の確認

<確認項目>

- ①接触ろ床槽がばっ気されていること
- ②循環水移送装置が揚水されていること
- ③処理水移送装置の吸込口より水位が高い場合は処理水が揚水されていること

<異常時の対応>

- ①～③が停止 →ブロワが運転しているか確認してください
→ブロワと浄化槽の接続を確認してください
- ①が停止 →散気用バルブ（青）が全開になっているか確認してください
- ②が停止 →規定水位まで水張りがおこなわれているか確認してください
→循環水移送用バルブ（灰）の設定を確認してください。
- ③が停止 →処理水移送装置の吸込口より水位が高くなっているか確認してください
→オリフィスを確認し、閉塞がある場合は除去してください。

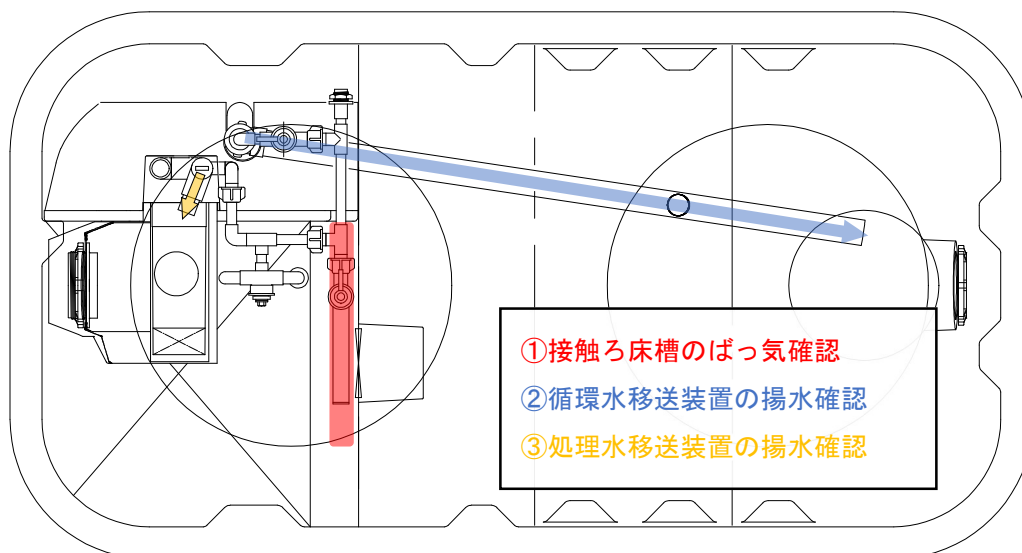
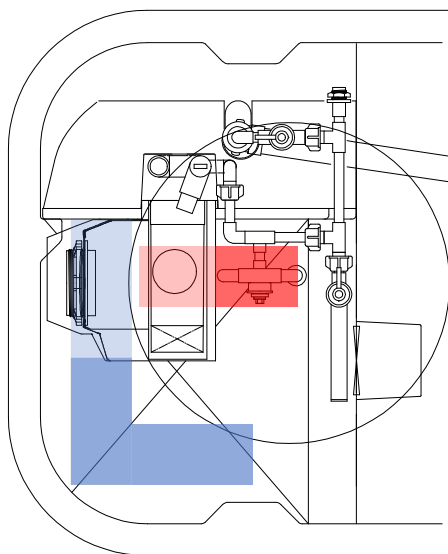


図 ばっ気・揚水の確認箇所

(2) 接触ろ床ろ材洗浄装置の確認

【5、7人槽】

- ろ材洗浄用バルブ（赤）を【レバー放流側】にしてください。
- 散気用バルブ（青）、循環水移送用バルブ（灰）を【閉】にしてください。
→接触ろ床槽の放流側壁面から気泡が上がっていることを確認してください。
- ろ材洗浄用バルブ（赤）を【レバー流入側】に切り替えてください。
→2. と異なる場所から気泡が上がっていることを確認してください。
- 散気用バルブ（青）を【開】にした後、ろ材洗浄用バルブ（赤）を【閉】にしてください。
- 循環水移送用バルブ（灰）の設定を元に戻してください。



青部：手順2. のばっ気箇所

赤部：手順3. のばっ気箇所

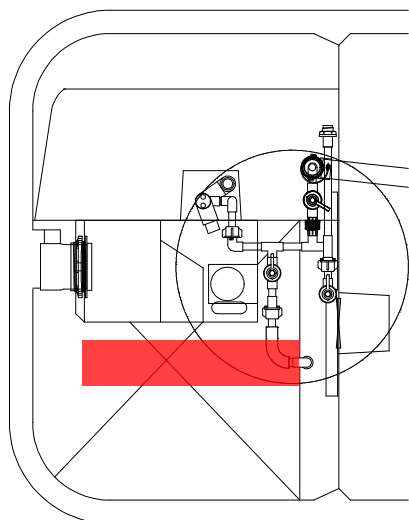
図 ろ材洗浄装置ばっ気箇所



図 5、7人槽ろ材洗浄用バルブ（赤）操作

【10人槽】

1. ろ材洗浄用バルブ（赤）を【開】、散気用バルブ（青）を【閉】にしてください。
2. 循環水移送用バルブ（灰）を【閉】にしてください。
3. 散気装置と異なる場所（ろ材の下部）から気泡が上がることを確認してください。
4. 散気用バルブ（青）を【開】にしてください。
5. 接触ろ材洗浄用バルブ（赤）を【閉】、循環水移送用バルブ（灰）の設定を元に戻してください。



赤部：手順3. ばっ気箇所

図 ろ材洗浄装置ばっ気箇所

（3）循環水量の確認と調整

上記（1）（2）の確認をおこなった後、循環水移送用バルブ（灰）を調整して循環水量を実測して下さい。**※循環水量は必ず実測をおこない調整してください。**

	5人槽	7人槽	10人槽
循環水量	2.8	3.9	5.6
（範囲）	(2.5~3.1)	(3.4~4.3)	(4.9~6.2)

単位：[L/min]

Q. 横向流夾雑物除去槽の整流板が変形しているように見えます

→横向流夾雑物除去槽の整流板は上部が固定されておらず可動します。しなやかな素材で力を逃がすことにより、破損しにくい構造となっています。整流板の上部が変形していても、破損などが認められなければ正常に機能します。

Q. オリフィスの点検および清掃は、保守点検毎に必要ですか？

→オリフィスの閉塞は、施工時に空気配管内部へ異物が混入してしまうことで起こることが大部分だと考えられます。よって使用開始前点検または1回目の点検時に確認していただき、以降は異常時のみの実施で問題ありません。処理水移送装置の吸込口より水位が高いのに揚水がおこなわれていないなど、異常が確認できた場合のみオリフィスの点検および清掃をおこなってください。

Q. DOが低く、水質が良くない場合の運転方法はありますか？

→そのような現場においては、ろ材洗浄管を用いて接触ろ材の下部からばっ気をおこない運転することにより、接触ろ床槽内のDOが上昇し処理水質が向上することが期待できます。

変更手順を以下に示します。

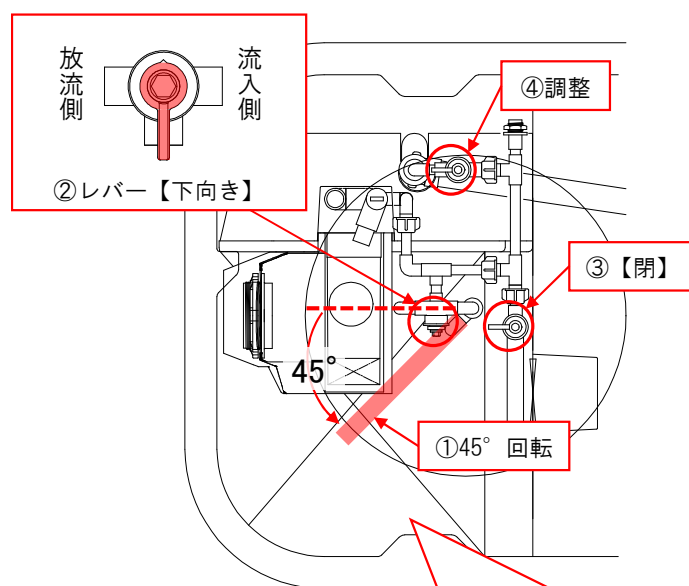
<手順(5、7人槽)>

- ①洗浄管（可動）のユニオンを緩め、操作部を放流側から反時計回りに45°回転させ、ユニオンを締める。
- ②ろ材洗浄用バルブ（赤）のレバーを【下向き】
- ③散気用バルブ（青）を【閉】

→接触ろ材の下部よりばっ気されていることを確認

- ④循環水移送用バルブ（灰）を操作して循環水量を調整する。

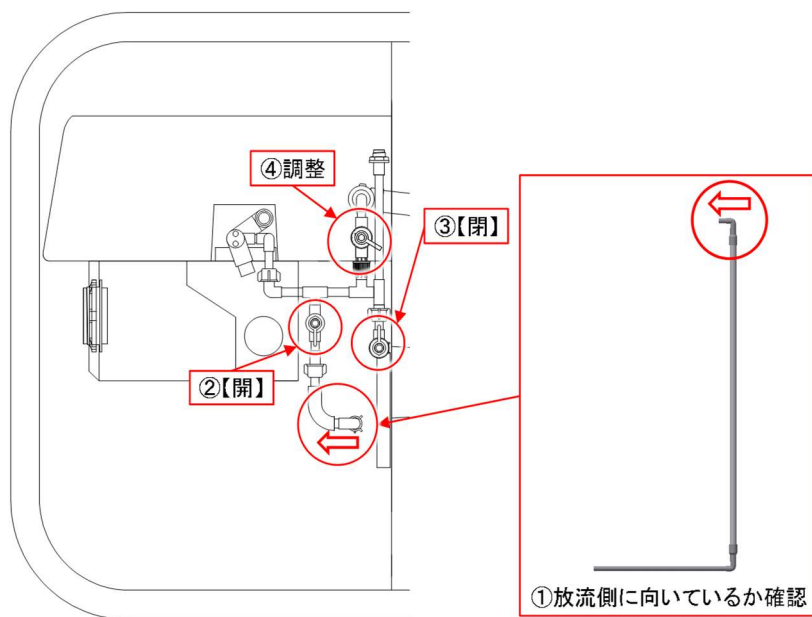
※循環水量は必ず実測をおこない調整してください。



※この操作により一時的に槽内のSS濃度が上昇しますが、数日で落ち着きます。

<手順(10人槽)>

- ①洗浄管をアームから外さずに初期位置（頂部のエルボが放流側に向く位置）にあることを確認する。
- ②ろ材洗浄用バルブ（赤）を【開】
- ③散気用バルブ（青）を【閉】
→接触ろ材の下部よりばっ気されていることを確認
- ④循環水移送用バルブ（灰）を操作して循環水量を調整する。
※循環水量は必ず実測をおこない調整してください。



↓↓↓ 作業手順の動画はこちら ↓↓↓



<https://youtu.be/MKJjqhP9SM>